



「いっすんぼうし」



どんなおはなし？



“ 小さな男の子がおにたいじ！ ”

「いっすんぼうし」

日本の昔話



むかし、子どもにめぐまれないおじいさんとおばあさんに、男の赤んぼうがうまれました。この男の子は一すん(今でいうと3センチ)しかない小さな男の子でした。いつまでたっても大きくなる男の子は、村の人から「いっすんぼうし」とよばれ、子どもたちにいじめれます。いっすんぼうしは、りっぱなさむらいになりたいとけっしんし、はりの刀(かたな)とおわんとはしをもらって、都(みやこ)へとたび立ちます。都でなだかい大じんにきに入られたいっすんぼうしは、おひめさまにもかわいがられます。そんなある日、おひめさまが大きなおににおそわれます。はたして小さいいっすんぼうしは、おにからおひめさまをまもることができるのか…。



出演者



まつおか ま ゆ
松岡 茉優さん

ドラマ、映画(えいが)、CMなどで大かつやくの、俳優(はいゆう)の松岡茉優さんが、「いっすんぼうし」を一人六役(やく)でたのしくかたり聞(き)かせてくれます。一すん(3センチ)の小さいいっすんぼうしになった松岡さんが、おにのおなかの中でどうやってたたかうのか?! 見のがせませんよ!



番組イラスト/「読んでみよう!」イラスト制作



イラストレーター
武田 美穂

